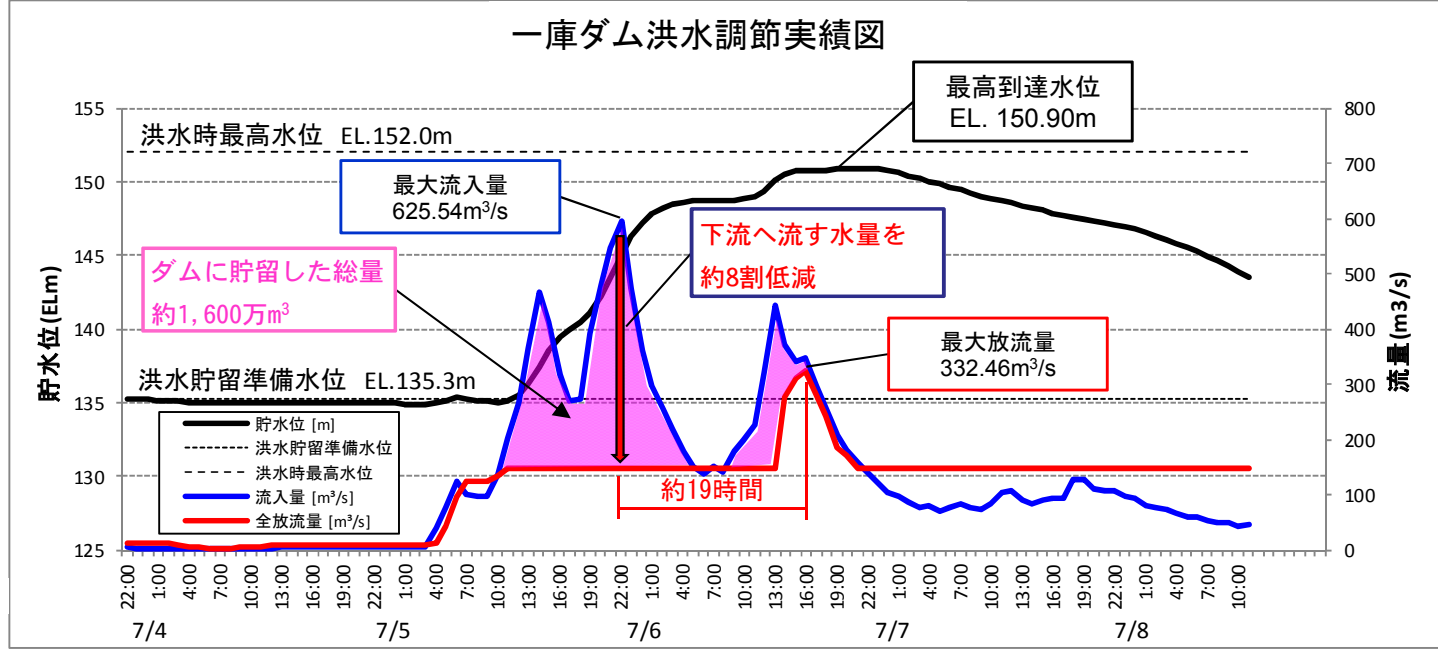
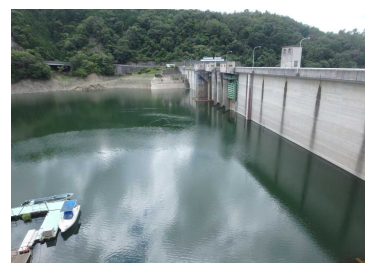
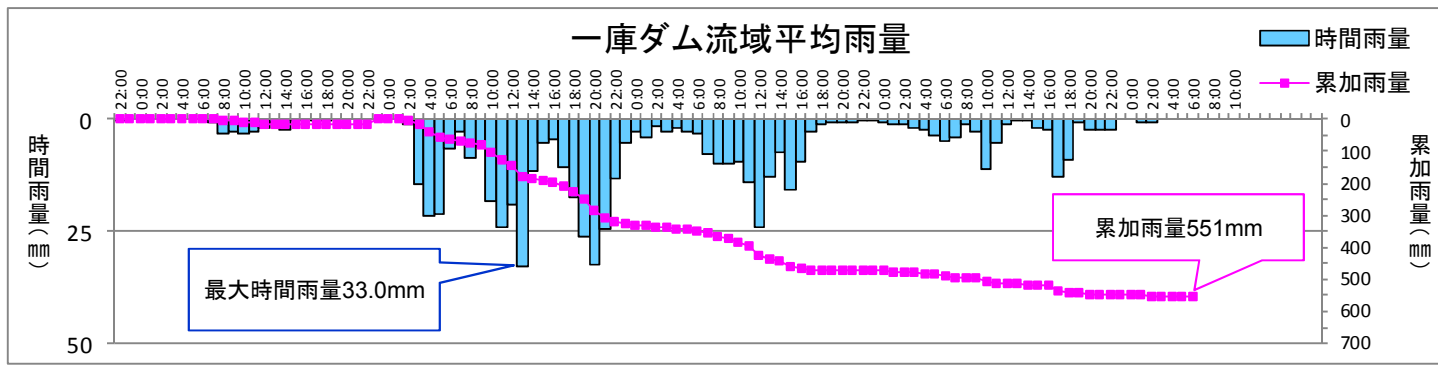
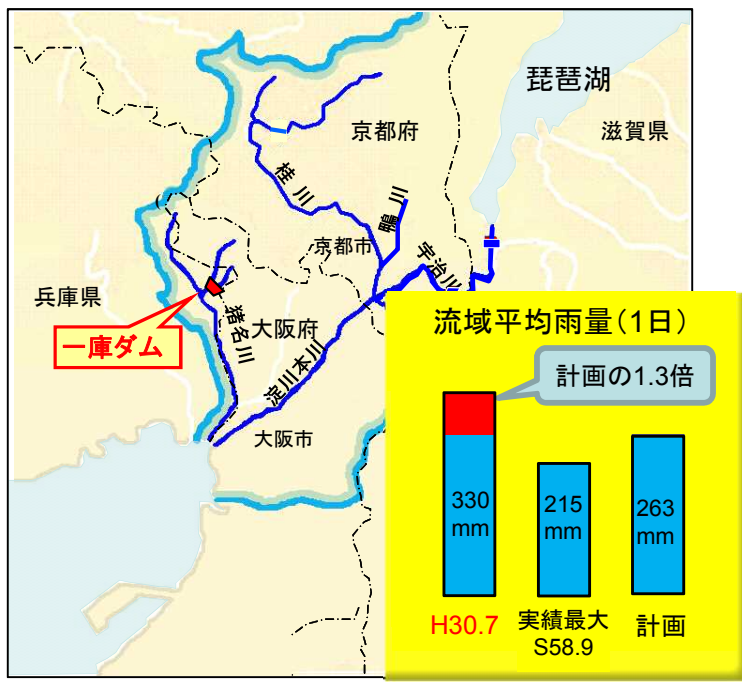


平成30年7月豪雨における^{ひとく}一庫ダムの洪水調節効果 淀川水系猪名川(兵庫県)

[速報版]

- 活発な梅雨前線の影響により、まとまった降雨が断続的に発生。一庫ダム流域における累加雨量は551mm、最大日雨量は330mm(7月5日)を記録し、ともに観測開始以来最大。特に最大日雨量は、ダムの計画雨量263mmを超える豪雨。
- 洪水時最高水位に迫る水位まで貯水池を活用して洪水調節を行い、総量約1,600万m³の洪水を貯留。ダムへの最大流入時に下流へ流す水量を約8割低減。
- これにより、ピーク流量の発生時刻を約19時間遅らせて避難時間等を確保するとともに、ダム下流河川の流量を低減させ浸水被害を軽減。



洪水貯留開始前の貯水池 (7月2日10時頃)

洪水時最高水位に近く貯水池 (7月6日17時頃)